



## 第 65 回海岸工学講演会に参加しました（2018/11/14-2018/11/16）

テーマ：第 65 回海岸工学講演会

場所：とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市尚徳町）

URL：[http://www.coastal.jp/ja/index.php?第 65 回海岸工学講演会](http://www.coastal.jp/ja/index.php?第65回海岸工学講演会)

11月14日(火)～16日(金)の3日間、とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市尚徳町）で第65回海岸工学講演会が開催されました（主催：土木学会 海岸工学委員会）。拠点メンバーからは、実践防災学研究領域の越村俊一教授，サッパシー・アナワット准教授および門廻充待助教ら3名の教員が参加し、研究発表を行いました（筆頭として2件，その他の研究者と連名で12件）。発表者の講演題目等は次頁以降に記載しております。今後も災害科学研究拠点では各種学会・シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。

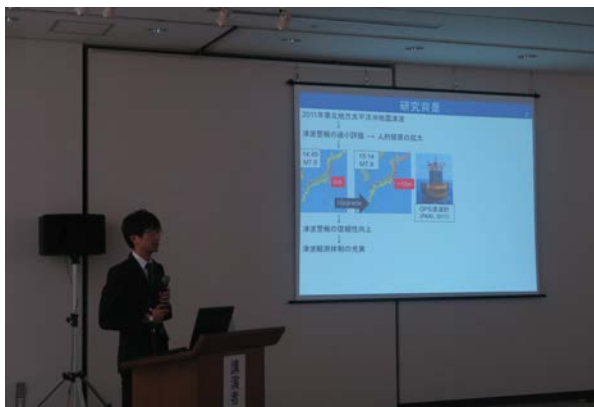
文責：門廻充待（実践防災学研究領域）



越村俊一教授



Anawat SUPPASRI 准教授



門廻充待助教



当日の様子

※下線は拠点メンバーの教員

著者	タイトル
大石裕介, 古村孝志, <u>今村文彦</u> , 山下啓, 菅原大助	南海トラフ巨大地震による津波の東京湾周辺での振動特性
林晃大, 山下啓, <u>今村文彦</u>	海岸林の分布・地形条件を考慮した家屋の津波被害に関する定量評価手法の提案
山下啓, 菅原大助, 有川太郎, 嶋原良典, 高橋智幸, <u>今村文彦</u>	強い非定常流れにおける飽和浮遊砂濃度を考慮した津波土砂移動モデルの改善
牧野嶋文泰, 大石裕介, <u>今村文彦</u> , 古村孝志	大規模避難シミュレーションによる臨海都市部の津波避難リスク分析と低減方策の検討
大竹拓郎, <u>Anawat SUPPASRI</u> , <u>今村文彦</u>	グローバル津波ハザード評価に基づく新しいハザード指標の導入と各地域での津波防災の提案
馬場亮太, 佐藤翔輔, <u>今村文彦</u> , 立木茂雄	津波で被災した現地再建者の地震・津波に対するリスク認知・防災リテラシー・備えの実態-東日本大震災で被災した名取市の事例-
戸川直希, 佐藤翔輔, <u>今村文彦</u>	災害対応訓練の経験が実災害時の行動に及ぼす効果の検証—宮城県亘理町における地震・津波・台風災害を事例にして—
新家杏奈, 佐藤翔輔, 川島秀一, <u>今村文彦</u>	津波伝承による津波の備えやリスク認識・実避難行動への影響-宮城県気仙沼市の事例-
佐藤翔輔, 新家杏奈, 川島秀一, <u>今村文彦</u>	東日本大震災の発生前における津波伝承に対する認識の地域間比較・評価
<u>門廻充侍</u> , 高橋智幸, 日向博文, 藤良太郎, <u>今村文彦</u>	1局の海洋レーダを用いた津波波峰推定法の検討とその適用例
倉本和俊, <u>Anawat SUPPASRI</u> , <u>今村文彦</u>	2016年福島県沖地震津波の課題整理とデータベースを利用した津波評価
佐藤兼太, <u>越村俊一</u>	MRT-LBMの弱圧縮を考慮した2D-3Dハイブリッド津波解析手法に関する数値的検討
<u>Anawat SUPPASRI</u> , <u>Kwanchai PAKOKSUNG</u> , <u>Ingrid CHARVET</u> , <u>Noriyuki TAKAHASHI</u> , <u>Teraphan ORNTHAMMARATH</u> , <u>Fumihiko IMAMURA</u>	New Building Damage Assessment Method Based on Numerical Tsunami Simulation and Analytical Force Estimation: Case study of the 2011 Tohoku tsunami
福谷陽, 森口周二, 小谷拓磨, <u>寺田賢二郎</u>	応答曲面法を用いた確率論的津波損害評価-相模トラフ地震への適用-

以上